

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開

研究課題名	小児神経疾患における中枢性ベンゾジアゼピン受容体の研究
所属科	神経科
研究責任者	浜野晋一郎
研究期間	2015年4月1日～2020年3月31日
研究概要	<p><math>^{123}\text{I}</math>-IMZ SPECT (single photon emission computed tomography) は中枢性ベンゾジアゼピン受容体と結合し、抑制性ニューロンの分布や機能を可視化することができる検査である。一般に、てんかんにおける部分焦点の検出に有効とされ、機能を反映する検査のためMRIに異常がない症例においても異常検出が期待できる。</p> <p>脳血管障害やてんかん、変性疾患、脱髄疾患、脳炎・脳症など多くの脳疾患において、病変部位や病態を把握するためIMZ-SPECTの変化が有用と考えられるが、中枢性ベンゾジアゼピン受容体は特に乳幼児における発達変化が大きく、現時点で正確な変化を示した報告が少ないことから、結果の解釈には専門性を必要とする。</p> <p>当センターでは、<math>^{123}\text{I}</math>-IMZ SPECTは通常診療で疾患の鑑別や病態の把握のために、多くの脳疾患患者に保護者の同意のもと検査を施行している。その検査結果を後方視的に検討し、年齢・発達による変化、さらに小児神経疾患における変化を調査する。</p> <p>患者および家族は、研究に参加することを断る権利を有し、断ったことによる不利益は一切存在しない。</p>
倫理的配慮・個人情報保護の方法について	<p>本研究は、日常診療業務で認められている医療行為が行われた患者を対象としており、診療録に基づいた後方視的な研究であり、患者への不利益および危険性はないと考える。また、個人を特定できるような情報収集は行わないため、個人が社会的危険に暴露される可能性はない。</p> <p>本研究は当センター倫理委員会の承認をすでに得ている。</p>
研究の問合せ先	<p>埼玉県立小児医療センター内研究責任者：浜野 晋一郎                  埼玉県立小児医療センター 神経科                  〒339-8551 埼玉県さいたま市岩槻区馬込 2100 番地                  TEL: 048-758-1811</p>
結果の公表について	集計されたデータのみを国内外の学術集会・学術雑誌などで公表する。
利益相反について	本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反はない。